

# 令和元年度 事業報告



拠点 みずなみ瀬戸の里



拠点 瀬戸の里



拠点 ニツ森



拠点 清和寮



拠点 福岡デイ

社会福祉法人五常会

# 令和元年度 本部事業報告書

年間を通し、定款に記載された人間愛、尊厳をもとに施設福祉・在宅福祉の拠点として利用者満足度の高い事業展開ができる法人をめざした。



岐阜県	21	中津川市	206	法人番号	1200005008959			
住所	中津川市瀬戸 1387-8		Tel	0573-65-3141	Fax	65-5178	Mail	Info@gojoukai.or.jp

## 評議員会

定員	7名	現員	7名	交代の有無	無	全員の報酬総額	112,000円
----	----	----	----	-------	---	---------	----------

評議員氏名	市岡惣二	井畑耕三	小栗正敏	柏原美之	小島由城経	常田順子	山本亮
-------	------	------	------	------	-------	------	-----

## 理事会

定員	6名	現員	6名	交代の有無	無	全員の報酬総額	672,000円
----	----	----	----	-------	---	---------	----------

理事氏名	土屋大二郎	高橋明範	内木良治	松下正伸	水野敬生	向晃良
------	-------	------	------	------	------	-----

## 監事

定員	2名	現員	2名	交代の有無	有	全員の報酬総額	216,000円
----	----	----	----	-------	---	---------	----------

監事氏名	知久隆雄	西尾國明	(前任者) 梶田幸一 令和2年1月31日まで				
------	------	------	------------------------	--	--	--	--

## ・評議員会の開催状況

	開催日・開催状況	定数7名	主たる議題
1	令和元年6月20日	5名	1.理事・監事選任 2.平成31年度事業報告 3.監事監査 4.財産目録 5.平成31年度計算書類
2	令和元年11月28日	7名	1.監事交代並びに監事の選任 報告1.3G法人「災害時相互支援協定」締結 報告2.受動喫煙対策

## ・理事会の開催状況

	開催日	定数6名	主たる議題
1	令和元年5月29日	理事6名 監事2名	1.評議員会招集 2.評議員会に推薦する理事・監事 3.平成31年事業報告 4.平成31年度計算書類 5.財産目録 6.監事監査報告 7.理事長・常務理事予選 8.元年上期賞与査定 9.資金運用規程
2	平成元年11月13日	理事5名 監事1名 欠席1	1.補正予算 2.臨時評議員会招集 3.監事交代並びに推薦する監事候補 4.特定処遇改善処置の給与改定 6.幹部職員の上期賞与査定 報告1.理事長の上期執行状況 常務理事の業務執行状況 報告2.基準単価改定に伴う料金変更 報告3.満足度調査結果 報告4.特養待機者管理及び稼働率計画等 主たる議題

3	令和2年3月25日	理事6名 監事2名	1.事業計画の件 2.予算の件 3.補正予算の件 4.法人委員会事業計画 5.評議員選任解任委員会の人事 6.第3者委員の人事 7.上期業績査定に係る事業所目標 8.清和・二ツ森・ゆうわの給食業者見直し 9.取引業者の 年度更新 報告 1.事業報告 2.瀬戸の里収益改善
---	-----------	--------------	---

#### 監事監査

	日時	定数2名	主たる項目
1	令和元年5月10日	監事2名 梶田 知久	1.法人の運営・役員等の執行状況 2.事業報告の監査 3.計算関係書類及び財産目録の監査 指摘・意見 ・事業報告の数字の不一致 ・瀬戸の里等収益 改善 3.清和寮の収入経常方法 4.特別増減差額の件

#### 会計指導

事業所名	
税理士法人名南経営	財務に関する内部統制の向上に対する支援・計算書類

#### 重要な人事発令

所属	役職	就任	退任	発令
法人	監事	西尾國明	梶田幸一	令和2年2月1日

令和元年10月13日今井恭次（死亡） 開設依頼の役員（元理事・元施設長）

#### 監査対応

日時	監査等の機関	指導事項等
令和元年10月30日	岐阜県恵那事務所	介護保険 事故防止の指針、公表追加

#### 法人本部職員の人数

常勤専従職員	0名	常勤兼務者の実数	理事長他5名	非常勤職員0名	常勤換算1.0名
--------	----	----------	--------	---------	----------

#### 法人直轄委員会

委員会名	活動内容
人事戦略委員会	諸規程の整備・人材活用
品質改善委員会	満足度調査実施 不適切ケアチェックの排除等 介護ロボ検討会
業務効率化委員会	未活動
広報委員会	六斎市・岐阜就職フェスタ・リクルートパンフレット作製への取組
収益基盤改善委員会	加算取得状況の検討・稼働率向上

詳細委員会報告参照

# 令和元年度 事業報告



特別養護老人ホーム瀬戸の里  
瀬戸の里デイサービスセンター  
瀬戸の里ケアプランセンター  
中津川市瀬戸の里地域包括支援センター  
西在宅介護支援センター

## 令和元年度 特別養護老人ホーム瀬戸の里事業報告

特養瀬戸の里は、改築で定員100名となり2年目を迎えました。稼働率93%を目指しましたが、85.5%に留まる結果となりました。経常増減差額では、前年の9百万の赤字から脱却し、960万円程度のプラスで決算を終了する見込みとなりました。施設整備借入金償還が1月から発生し、今年度からは満額の2千2百万円になるので、さらなる収益性の向上が不可欠となります。

利用者処遇に関しては、名古屋港水族館旅行・地域交流の夏祭の他、毎月の行事を計画どおり遂行し暮らしに抑揚をつけることができました。夜間防災訓練では地元消防団の協力を得て実施しました。

給食業者委託の初年度でもあり、画一的になりがちな献立を給食会議等で是正し利用者に添った食事の提供を心がけました。歯科医院全面協力の元、職員へ適切な指導もありスキル向上を図ることで、利用者の口腔ケアが大きく進みました。

一方で5つのゼロ「事故・感染・褥瘡・身体拘束・虐待」を掲げましたが、3件の骨折事故が発生し看過できない状況となり事故防止の対応に迫られました。入所時点での褥瘡がある方も増え予断を許さない状況で、看護部門が中心となり再びゼロを目指しています。

年間の退所者数については44名と多くの方を看取ることになったのは残念な結果でした。特に年明けの1月は、12名の方が亡くなり職員も疲弊する状況となりましたが、年度末には落ち着きを取り戻しました。一方で若い方の利用も増え、身体・認知の他、精神障害の方の受入れも多くあり、利用者相互の安全性の確保が課題となってきました。

人材確保については、退職者が2名に対し職員の拠点間異動、人材紹介会社利用などで数名を確保できましたが、新卒採用ができない、EPAも1名の確保に留まるなど厳しい状況は続き、年代及び国籍の多様化となってきました。

職員に対しては、特定処遇改善加算による賃金改善、県社協による拠点全員面談などを実施しました。「人がいないので研修を受けられない」との課題については、3月からはEラーニング研修を開始し機会均等に取組んでいます。ただ、未だに長期の有給取得が難しいなどの項目が課題として残っています。

職員の接遇レベルを上げるため、不適切ケアチェックリスト・利用者満足度調査も実施し、より良いケアを目指しました。このような中でも、EPA候補者2名が介護福祉士に合格し、見事永住の権利も取得しました。施設全体としても介護福祉士取得率が75%超えを達しました。

年度末の発生した、新型コロナウイルスの対応として、利用者家族の面会制限、歯科診療、理美容休止などQOLに直結する問題と、マスクを始めとする衛生材料の確保に苦慮する事態となっています。感染リスク・閉じこもりのストレス、先が見えない不安感にも襲われますが、職員一同目的を見失わず力を合わせていきます。

利用者の多くが瀬戸の里での看取りを希望されています。「人生の最期を瀬戸の里でむかえられて良かった」とご家族からの言葉を頂きます。この言葉に報いるよう、心を込め精一杯安楽の棲家となるよう職員が努力したことを報告いたします

特別養護老人ホーム瀬戸の里入所者状況

区分		男	女	合計
入所者数		19	72	91
年間	入所	7	44	51
	退所	6	38	44

	男	女
最高年齢	96	103
最小年齢	62	63
平均年齢	83	88
	87	

入退所状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者		5	3	3	3	0	6	4	4	5	5	5	8	51
内訳	在宅			1	2		2	2	2	2	2			13
	病院	4	1							1	3		3	12
	老健他	1	2	2	1		4	2	2	2		5	5	26
退所者		5	3	2	2	3	3	6	2	2	12	4	0	44
内訳	死亡	4	3	2	2	3	3	6	2	2	12	4	0	43
	入院													0
	家庭復帰													0
	その他	1												1

利用状況

(延べ人数)

年度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
前年度	365	1,309	5,208	11,840	10,331	29,053
今年度	366	762	5,374	13,282	11,424	31,208

平均要介護度	4.1	定員	36,600	稼働率	85.50%
--------	-----	----	--------	-----	--------

認知症日常生活自立度

3月末現在

自立		a	b	a	b		M
1	4	3	16	34	8	22	3

食事形態

3月末現在

主食				副食					入所者数
常食	粥	ミキサー	経管	常食	キザミ	超キザミ	ミキサー	経管	
30	43	15	3	25	35	12	16	3	

事故報告状況

転倒・ずり落ち	誤薬	誤食	骨折	裂傷	合計	保険適用件数
0	3	0	3	0	6	3

苦情相談件数

ケアの内容	個人の嗜好	職員の対応	その他
1	0	2	0

身体拘束状況

4本柵対応	施錠	つなぎ寝巻き着用	安全ベルト使用
0	2	0	0

従事者の状況

3月末現在

	管理者	医師	生活相談員	介護支援専門員	介護職員	看護職員	管理栄養士	機能訓練指導員	事務員	調理員	その他	合計
常勤(A)	1		1	1	30	5	1		2	0	1	42
非常勤(B)		1			7	3		1		0	2	14
非常勤の常勤換算(C)		0.1			3.7	1.5		0.1		0	0.5	5.9
(A)+(C)	1	0.1	1	1	33.7	6.5	1	0.1	2	委託	1.5	47.9

平成30年2月16日～ 厨房業務 日清医療食品に業務委託

有資格者数

3月末現在

社会福祉士	0 人	正看護師	5 人
介護福祉士	25 人	准看護師	3 人
介護支援専門員	4 人		

短期入所(ショートステイ)事業年間利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援1													
支援2													
介護1	6	8	7	9	11	7	12	9	11	6	9	8	103
介護2						10	5	6	11	7	10	10	59
介護3		1	5	8	13	7	2	4	9	4	2	1	56
介護4	18	17	13	11	13	18	26	20	11	31	18	9	205
介護5	6	6	5	5			2	2	1	1			28
合計	30	32	30	33	37	42	47	41	43	49	39	28	451

## 令和元年度 行事報告

4月	花見 開園記念	開園記念 握り寿司会食 お花見 五平餅・綿あめ・駄菓子	4月7・9・15日
5月	日帰り旅行	名古屋港水族館 ドライブ外出	5月14・17日 6月1・23日
6月	お楽しみ行事	猿回し 曲芸	6月23日
7月	七夕 地域行事参加	流しソーメン等(山の田の夏祭り台風で中止)	7月9日
8月	瀬戸の里 夏祭り	家族 地域住民多数との交流 区長会 苗木中/J Bバンド/ボランティア団体	8月3日
9月	敬老会週間 敬老の日	敬老のお祝い(握り寿司会食) 手作りおやつ	9月19日
10月	保育園交流運動会	保育園との交流運動会 焼きたて五平餅会	10月25日
11月	ふる里会食	家族との昼食会	11月2日
12月	クリスマス会	中津川少年少女合唱団 ベトナム合唱団による コンサート 絵馬に願い事を書き飾る	12月21日
1月	初詣	鳥居を作り初詣 皆でおみくじを引き飾り付け	1月8・9日
2月	節分	職員が鬼になり利用者と一緒に楽しむ	2月3日
3月	ひな祭り	ひな壇飾り おひな様 おだいり様に仮装した 職員と記念撮影を撮る 手作りおやつ	3月2日

### 職員内部研修等

月	研修内容	実施機関	時間
元年5月	不適切ケアチェックリスト実施	五常会	研修時間 18:30~ 20:30
6月	新人職員勉強会	吉村社会保険労務士	
7月	感染症研修会	サラヤ 三島晴奈	
9月	感染症研修会	東濃厚生病院 認定看護師 山本美穂	
9月	認知症事例研修会	心理カウンセラー 小菅もと子	
11月	感染症勉強会(2回)	看護師 小南明子	
2月	排泄ケア勉強会	大王製紙 講師 山口美雪	
3月	介護ロボット研修会	リコー 森	
毎月	事故対策検討勉強会	介護職	
その他老施協他関係団体研修会に参加			

## 令和元年度 瀬戸の里デイサービスセンター事業報告

今年度も常に利用者への尊厳を念頭において、良質な介護サービスを提供することを心がけ、大きな苦情・事故等もなく無事年度を終了することができました。ただ、稼働率におきましては、利用者の入院やグループホーム・特養入所などで終了となる件数も多くありました。又年度末には新型コロナウイルスの影響も受け、稼働率が年間68.5%と昨年度から3.5%下げる結果となってしまいました。

本年も、重介護の方、認知症で周辺症状のある方を積極的に受け入れるという方針で実施しました。特に瀬戸の里デイは、同一拠点内に地域包括支援センター及びケアプランセンターがあることが大きなメリットですが、そこを活かしきれていないこと、頼り過ぎていることも稼働率の拡大につながらない要因となりました。他の居宅事業所への働きかけ、PR活動など営業活動が十分でなかったところが反省されます。

瀬戸の里デイサービスセンターは、昔ながらのデイサービスセンターといったイメージの定着はあります。昔ながらの良し悪しを見極めつつ、マイナスな傾向をプラスの力に変え、選ばれる事業所づくりを目指しています。その視点から、通所介護の目的でもある閉じこもりや、孤立感の防止にも力を入れ、利用された皆様には、常に、一人一人が存在感を持てるような時間や行事を企画しました。中でも、苗木作品展などをはじめとして地域への関わりで成果を挙げることができました。

自立支援、重度化防止を重点課題とした昨年度の改正後、今年度は当センターもADL維持等加算のBI（バーセルインデックス）評価の継続、具体性ある生活リハビリの環境づくり、個別の対応に重点を置き対応してきました。今期のタブレット導入で手書き業務削減の時間は大きいものがありました。AIの活用によりスタッフが利用者に関わる時間も確実に多くなり、個人に沿った機能訓練を兼ねた楽しいデイサービスの過ごし方を提供できる体制になりました。パワーリハでなくても楽しみながら機能訓練ができている、個人が置いて行かれない対応が特色として選んで頂ける事業所であるよう努めてまいります。

長年一緒に頑張ってきたスタッフの存在がなくなり、利用者とともに涙することもありました。そういった感情の共有も社会参加ならであり、この場所を大切にしたいと思っています。新しいスタッフにより新しい風が入りました。働きやすい環境づくりを第一に、向上心あるスタッフの人材育成に努め、チームとして瀬戸の里デイサービスセンターを作っていきたいと思っております。

## 令和元年度 稼働状況等報告

指定番号	2171500149			定 員(A)		18人		総合事業 A6有
事業所名	瀬戸の里デイサービスセンター			3月利用実人員		38人		
運営時間	8時30分～17時30分			稼働日		月～土(年未年始を除く)		
報酬単価  各種可算 要介護 円/回 要支援 円/月  1認知症加算は個別加算 の為対象者のみ加算  2要支援1・2の昼食間食は 一回720円×利用回数	介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	7h～8h単価	16,470	33,770	7,390	8,730	10,120	11,500	12,880
	入浴加算			500	500	500	500	500
	サービス提供体制強化加算 ( )イ	720	1440	180	180	180	180	180
	中重度ケア体制加算			450	450	450	450	450
	1 認知症加算 (個別加算の為合計に含めず)			600	600	600	600	600
	介護職員処遇改善加算 ( )	1,014	2,077	503	582	664	745	827
	介護職員特定処遇改善加算 ( )	206	423	102	118	135	152	168
	2 昼食・間食	720×利用回数	720×利用回数	720	720	720	720	720
	利用料日額 合計	18,410	37,710	9,845	11,280	12,769	14,247	15,725

要支援は一か月単価表記

	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比較	苦情	
稼働日数	309日	309日	1	令和元年度	30年度
平均年齢	86.5歳	95.9歳	-9.40	0	0
男女別人員	男1,243人 女1,816人	男1,656人 女2,407人	-	第三者委員まで 報告を要した件数	
平均介護度	2.5	2.6	-0.1	事故	
要支援	32	31人	1		
要支援	41人	72人	-31	令和元年度	30年度
要支援合計	73人	103人	-30	0	1
要介護	759人	1,177人	-368	保険を適用件数	
要介護	809人	924人	-115	職員等の状況	
要介護	367人	664人	-297		
要介護	718人	762人	-44	兼務の場合は主職種	
要介護	333人	432人	-99		
要介護合計	2,986人	3,959人	-973	常勤	非常勤
年間総合計	3,059人	4,062人	-1,003	管理者	1
年間総定員	5,562人	5,562人	18	相談員	1
稼働率	61.00%	73.03%	-	介護士	2
計画数	4,171人	4,580人	-409	看護師(機能訓練)	1
達成率	73.34%	88.69%		支援	1

令和元年度 行事報告

月	行事名	内容	
4	いちご狩り	坂本めぐりーんにて旬の味覚を堪能	中止
	花見	本町公園や四つ目川など桜の名所ドライブを楽しむ	4/2-28 130名
	お花見弁当	城山桜公園へお花見弁当（開花間に合わせセンター玄関前にて）	4/13 11名
5	買い物外出	近隣のショッピングセンターへ買い物ツアー	5/20-25 30名
	花見ドライブ	蛭川のひとつばたご、市内バラ園の名所ドライブを楽しむ	5/13-18 38名
	おやつ作り	春野菜のお好み焼き作り	5/6-10 14名
	端午の節句	五月人形 鯉のぼり作り 折り紙工作	5/11-17 54名
6	交流会	ゆうわ苑、ワンコインなど同年代の方と交流を交え運動会	6/18 9名 7/16.18 22名
	喫茶外出	最近出来た喫茶店でデザートを食べ社会見学	6/10-14 35名
	手作りおやつ	季節のおやつを味わう カップケーキ作り	6/10 15名
7	七夕祭り	笹の葉に短冊を、七夕飾りを作る	7/1-6 48名
	手作りおやつ	おしゃれなアジアンフロートを味わってみる	7/22-23 22名
	買い物外出	近隣のショッピングセンターへ買い物ツアー	7/6-13 33名
8	流し素麺週間	季節感ある昼食を楽しむ	8/20-23 23名
	夏祭り	射的の的を作り、ゲームで楽しむ。	8/1-13 79名
	夏祭り	浴衣と盆踊りで夏祭り気分	8/14-15 14
	喫茶外出	なつかしの喫茶店へ出掛けよう！ 苗木 元越	8/14-27 32名
9	運動会	競技道具も作って、運動会を楽しむ	9/9-14 62名
	手作りおやつ	お彼岸にちなんでおはぎづくり	9/2-7 60名
	秋の工作	秋の花、コスモスを工作で作って飾ろう	9/16-21 47名
	ぶどう狩り	午後、落合ぶどう園にて秋の味覚を堪能	9/23-28 27名
10	五平餅大会	新米を使っての五平餅会。作る過程も楽しみ、炭火焼きで香りも楽し	10/12.15.17 58名
	手作りおやつ	ベビーカステラを作ろう	10/16-21 24名
	秋のドライブ	コスモス、坂下蕎麦の花を見学	10/25-31 286名
	買い物外出	近隣のショッピングセンターへ買い物ツアー	10/1-7 43名
11	映画上映会	大きなスクリーンで映画を見ながら苑内喫茶	11/20-22 38名
	音楽療法	頭、身体を使って楽しく認知症予防	11/18 14名
	防災訓練	火事を想定して避難訓練	11/5-9 56名
	紅葉ドライブ	紅葉の名所、夕森公園へもみじ狩り	11/12-16 57名
12	忘年会準備他	忘年会の飾りを作る	12/2-7 32名
	買い物外出	年末準備のお買い物ツアー	12/16-21 18名
	正月準備	締め縄を作って正月を迎える準備、自宅に飾ろう	月間通して 24名
1	新年会	書初め 懐かしい正月遊びに興じます	1/3-16 58名
	初詣	近くの神社、仏閣に参拝し、一年間の安全祈願を！・十日市見学	1/6-9 24名
2	節分	鬼退治ゲームで身体を動かそう	2/1-3 22名
	手作りおやつ	バレンタインにちなんだおやつ作り	2/11-13 28名
	苗木作品展	作品展を目指して作品を作り、展示を見に行く	21-21 61名
	吊るし飾り見学	各地域の吊るし飾りを見学に行く	2/24 12名 他中止
3	桃の節句	季節行事・雛飾り作り	3/1-3 21名
	手作りおやつ	どら焼きつくって食べよう	3/16-18 32名
	買い物外出	近隣のショッピングセンターへ買い物ツアー	中止（釣りゲーム28名）
保険外	食事会	近隣の懐かしい食事処で一日を楽しむ	6/23 16名
行事	忘年会	一年の締めくくりをご家族様、ボランティアも一緒に締めくくる	12/8 15名

尚、各行事に不参加の方にはその都度、各利用者に適した個別レクリエーションの提供を行いました。

令和元年度 瀬戸の里ケアプランセンター 実績報告

R2/3/31 現在

1 介護支援専門員の状況

介護支援専門員数	3人	内訳	常勤	専従 2人 兼務 1人	非常勤	専従 0人 兼務 0人
----------	----	----	----	----------------------	-----	----------------------

2 給付管理の状況

提供月	給付管理件数 (A)	支援専門員数 (B)	平均件数 (A) ÷ (B)
4月	64	3	21
5月	64	3	21
6月	67	3	22
7月	65	3	22
8月	66	3	22
9月	61	3	20
10月	64	3	21
11月	63	3	21
12月	63	3	21
1月	59	3	20
2月	58	3	19
3月	64	3	21
合計	758	36	21.1

(小数点以下切り捨てて記載)

担当者別 件数	担当	垣内	酒井	向井	合計
年間件数		298件	269件	191件	758件
新規件数		0件	12件	16件	28件

( \* 新規件数 = ケアプランの依頼を受けたうち、初回に給付管理を行った場合 + 介護度が2段階以上変化し、初回加算を算定した場合 )

終了件数(人)	入所等 9件	死亡 12件	変更 3件	合計 24件
---------	--------	--------	-------	--------

(変更=居宅支援事業所変更 : 予防給付への移行 及び 高齢者専用住宅等入居に伴う居宅支援事業所の変更含む)

・前年度との比較

	給付管理月取り扱い件数	新規件数	終了件数	新規件数に繋がったのは28件だが居宅への受け入れ依頼は33件あった。未利用、要支援認定により実績には繋がらなかった。
30年度	784件	16件	23件	
元年度	758件	28件	24件	
差	26件	12件	1件	

介護度別利用者数の割合

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護3~5の割合
38.5 %	26.3 %	17.3 %	10.4 %	7.5 %	35.2 %

(小数点以下四捨五入して記載)

### 3 居宅介護支援費の請求状況

居宅介護支援費( )を算定 (取り扱い件数40未満)	要介護 1・2	10,530単位/月
		10,570単位/月
	要介護 3・4・5	13,680単位/月
		13,730単位/月

(下段は令和1年10月報酬改定後単価)

提供月	介護度別件数		支援費	介護度別件数			支援費	支援費合計
	介護1	介護2		介護3	介護4	介護5		
4月	25	15	430,200	10	7	7	333,320	763,520
5月	23	16	415,170	12	7	6	356,500	771,670
6月	27	19	496,380	11	4	6	291,280	787,660
7月	26	19	486,350	11	5	4	277,600	763,950
8月	24	20	473,320	13	5	4	303,960	777,280
9月	24	15	416,670	11	6	5	303,960	720,630
10月	23	16	533,730	11	8	6	417,150	950,880
11月	23	15	517,660	12	8	5	426,200	943,860
12月	24	17	565,370	10	7	5	368,010	933,380
1月	24	16	550,800	9	7	3	317,870	868,670
2月	23	15	521,660	10	7	3	334,600	856,260
3月	26	16	581,940	11	8	3	377,060	959,000
合計	292	199	5,989,250	131	79	57	4,107,510	10,096,760

令和元年度から正式にケアマネジャーを1人増員し3人体制が定着、特定事業所加算が取れる体制を整え、令和1年10月特定事業所加算の届け出を行っている。

### 4 加算・減算の適用について

(加算の状況)

加算項目 (1単位 100円)	単位	円	件数	加算額
特定事業所加算	300	3,000	371	1,113,000
初回加算(初回または2段階変更)	300	3,000	28	84,000
入院時情報連携加算	200	2,000	17	34,000
入院時情報連携加算	100	1,000	0	0
退院・退所加算	450	4,500	6	27,000
緊急時居宅カンファレンス加算	200	2,000	0	0
小規模多機能型居宅介護事業所連携加算	300	3,000	2	6,000
加算額合計				1,264,000

(減算の状況)

運営基準減算の適用	減算の適用 なし
-----------	----------

運営基準減算が適用される場合

居宅介護支援の業務が適切に行われない場合、所定単位数×0.5を算定  
運営基準減算が2ヶ月以上継続している場合は所定単位数を算定しない

特定事業所集中減算の適用	減算の適用 なし
--------------	----------

**特定事業所集中減算が適用される場合**

対象期間中に〔訪問介護・通所介護・福祉用具貸与〕において、正当な理由なく特定の法人へのサービス計画が80%を超えた場合、減算適用期間の居宅介護支援費の全てについて200単位/月を減算

前期判定期間〔3月1日～8月末日〕 減算適用期間〔10月1日～3月31日〕

後期判定期間〔9月1日～2月末日〕 減算適用期間〔4月1日～9月30日〕

\*注 平成27年の介護報酬改定に伴い、居宅介護支援の公平・中立性を更に推進するため、平成27年9月以降の特定事業所集中減算の要件が変更となりました。

**訪問介護において、紹介率が最も高い法人**

期間	訪問介護が位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名)株式会社ニチイ学館		(事業所)ニチイセンター(中津川・みの坂本・手賀野・坂本)	
前期	77	50	64.9%
(法人名)株式会社ニチイ学館		(事業所)ニチイセンター(中津川・みの坂本・手賀野・坂本)	
後期	93	51	54.8%

**通所介護において、紹介率が最も高い地域密着型通所介護の件数を含む**

期間	訪問介護が位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名)社会福祉法人 五常会		(事業所)瀬戸の里DSC、ゆうわ苑DSC	
前期	242	134	55.3%
(法人名)社会福祉法人 五常会		(事業所)瀬戸の里DSC、ゆうわ苑DSC	
後期	280	144	51.4%

**福祉用具貸与において、紹介率が最も高い法人**

期間	訪問介護が位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名)株式会社 トーカイ		(事業所)株式会社トーカイ 中津川営業所	
前期	165	117	70.9%
(法人名)株式会社 トーカイ		(事業所)株式会社トーカイ 中津川営業所	
後期	198	131	66.1%

**5 介護支援専門員資格の状況**

(令和2年3月31日現在)

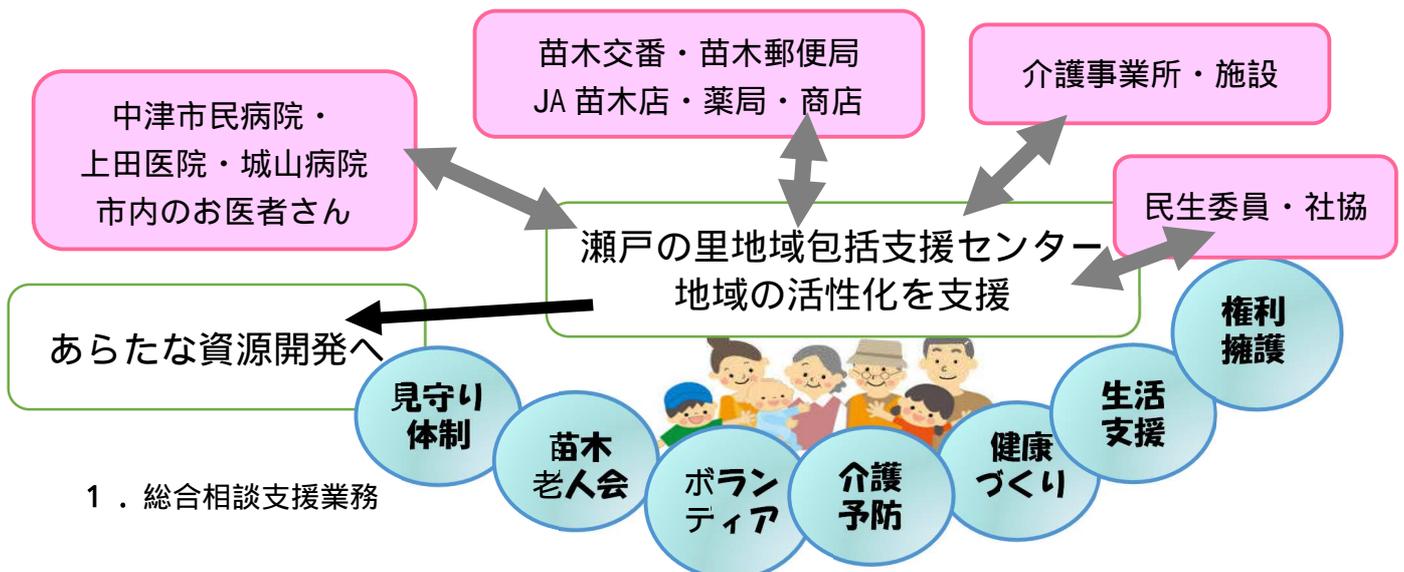
垣内 朋子	介護支援専門員証有効期間満了日(平成 34年 2月 3日) 主任介護支援専門員更新研修修了 { 修了年月日 : 平成 29年 2月 4日 } { 研修機関名 : 社会福祉法人 岐阜県福祉事業団 }
向井 優子	介護支援専門員証有効期間満了日(令和 7年 3月 25日) 主任介護支援専門員更新研修修了 { 修了年月日 : 令和 元年 10月 9日 } { 研修機関名 : 社会福祉法人 岐阜県福祉事業団 }
酒井 裕也	介護支援専門員証有効期間満了日(平成 35年 6月 14日)

## 中津川市瀬戸の里地域包括支援センター

## はじめに

地域包括支援センターは、保健者と地域住民のため、住み慣れた地域でその人らしい暮らしが継続できるよう、住民がさまざまな社会資源を選び活用できるような地域包括ケアの推進にある。どこまで継続できるか、地域ごとの環境の限界点を高めるため、担当地域を把握し、地域と共に考え、共に取り組む姿勢が、地域包括支援センターの地域ネットワーク作りといえる。地域に根差す法人としての利益は、行政・地域との協働による地域づくりの一端を担う地域貢献事業と考える。

高齢者の生活に関わるすべてが支援対象となる業務を下記の1から6項目として分類



潜在ニーズが予測される対象や予防的支援に切り替えるべき対象に、計画的に実態把握訪問を行う。相談＝地域情報が集まりやすいネットワークづくり、相談内容から地域ごとの課題とニーズを把握。

○訪問及び電話相談の年間の実件数 565 件 下記はその内容項目

相談内容別 (件)	H29 年	H30 年	H31 年
状態把握	394	453	452
介護・福祉サービス相談	170	158	181
医療福祉の相談	164	93	86
介護に関する相談	17	12	77
認知症の相談	69	36	31
申請代行	38	32	23
介護保険の相談	78	78	105
身障・精神	12	11	11
虐待に関する相談	3	2	11
その他	45	60	41
<b>介護予防</b>			<b>48</b>
<b>ケアマネ支援</b>			<b>29</b>
合計	990 件	935 件	1,136 件

地域包括支援センターとし必要な2件の相談項目追加、前年比無

## 2. 介護予防事業

高齢者の外出場所をつくり、要支援者の早期発見に留意。

### ○のびのび楽ちん体操教室

ストレッチと脳トレ体操

毎月第4水曜日自由参加

開催数 11回 年間参加者数 246名

### ○独り暮らし交流会

参加者主体の計画通り実施

毎月第1水曜日

開催数 11回 年間参加者数 79名

### ○出前講座

開催回数 6回 参加者延べ 118名

内容：介護予防 健康講話

### ○各地区クラブでの開催

ストレッチ・脳トレ・健康講座・音楽療法

4月八幡区 5月日比野区

6月三郷区 上並松区 下並松区

7月井汲区 新谷区 背戸川区

10月下並松区 室屋区

11月井汲区 日比野区 山の田区

12月新谷区 1月八幡区 2月三郷区



## 3. 権利擁護事業

成年後見制度や消費被害についての啓発チラシやカレンダー等々の配布

高齢者虐待に関する研修への参加、

事例検討会・地域ケア会議の開催

## 4. 包括的・継続的ケアマネジメント業務 「ケアマネ支援・連携・協力体制づくり」

市全体ケアマネ連絡会・多職種連携会議・地区内の主任ケアマネ連絡会議参加

○けあまねカフェを開催 ~社会資源の紹介、ネットワークを繋ぐ~ 総勢 22名参加

参加者の声

- ・地域の情報共有に繋がりととても良い
- ・地区の事業所や施設の方と話ができ勉強になる
- ・地域包括や新事業の聞いたかった事が聞けた
- ・他のCMさんとの話はスキルアップができる



○地域ケア会議を開催 ケアマネから相談があった困難事例に対し関係者一同集め検討

独居男性高齢者、生活保護、夜間も不定愁訴と思われる電話が近隣へ頻回。在宅での生活の限界点について検討	医師・介護施設・近隣住民と情報共有と統一支援へ
認知症、日中独居で昼間に1人歩き、長男の協力なく、サービスが増やせず、地域で保護を繰り返している状態	長男のネグレクトとも。警察と地区常会を含めた連携
独居要介護者、娘夫婦が住み込み、生活と金銭管理し体重減少現象、デイサービスの利用も休みがち、通院に繋がらない	虐待判断の検討。主治医も含めた連携へ

## ○ケアマネと民生委員との顔の見える交流会を開催

- 第1回 顔つなぎ関係作り～事例を通じたグループワーク～  
 第2回 地域包括とケアマネ業務紹介  
 参加者の声：お互いの業務や立ち位置が理解できた



## ○地域ケア個別会議の開催

- 各専門分家のアドバイザーより助言を受け自立支援、地域の限界点をアップ  
 個別事例の検討を通じ地域課題を抽出し積み重ね  
 「70代アルコール依存認知症の方への支援」から新たな対応マニュアルと居場所作り  
 「精神障害要介護者、妻への暴言暴力孤立化世帯」から見えるものは孤独という課題  
 「家族からのネグレクトで他地域の施設入所、家族不和」の事例から有料施設との連携へ

## 5. 認知症施策

- 認知症家族介護者の会 年3回 延べ9名参加

- 認知症サポーター養成講座 苗木小学校4年生2クラス

- 認知症カフェ ～まちの交流の場づくり～56名参加
- 
- 内容：認知症サポーター医師による認知症の話
- 
- 医療介護福祉専門職と地域住民が繋がるカフェ



- 正しい認知症の理解と対応方法を広める取り組み  
 名古屋認知症カフェ視察、認知症カフェ連絡会  
 認知症キャラバンメイトフォローアップ研修や認知症研修会への参加

## 6. その他、地域ネットワークの形成を含めた取り組み

- 地域包括支援センター職員基礎研修、包括・在宅支援協議会東海北陸ブロック研修  
 生活支援体制整備事業第2層協議体 協議会議  
 苗木地区民生委員定例会出席  
 地域の見守り相談協力員懇話会開催  
 いきいきネットワーク研修会  
 恵那中津医療介護専門職連携学習会  
 地域包括支援センター運営協議会  
 福祉まつり



尚、市の3月のコロナウイルス感染拡大防止対策により、4地区の予防教室と2か所の出前講座中止（約90名の参加見込み）実態把握訪問30件分と各種会議研修の中止延期対応

## 西在宅介護支援センター

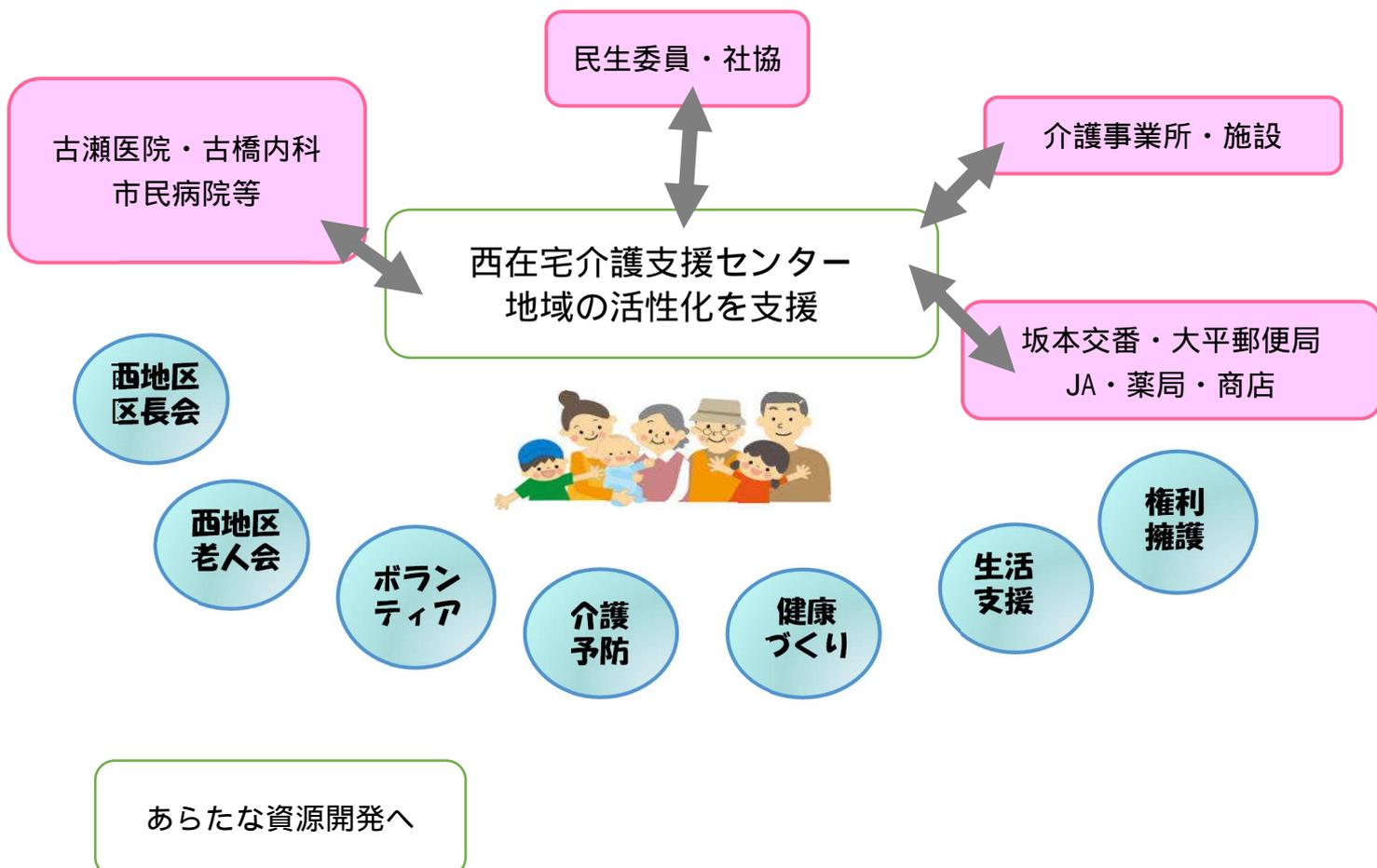
### はじめに

支援センターは市内において地域に根差した信頼のおける法人が市から委託を受け、その委託料にて運営している。苗木地区と西地区の2カ所の委託を受けていること自体が当法人のPRになっている。委託料にて運営している当事業所の目的は利益を出すことではなく、より多くの信頼を地域から得ること。それが、担当する地域住民が住み慣れた場所で尊厳を保ちながら安心した暮らしを継続するための支援に繋がる。地域住民がフォーマル・インフォーマルサービスを始めとしたさまざまな社会資源を活用できるよう、支援に取り組んでいる。

東：ニチイ    西：瀬戸の里    南：広斉寮    北：中津川市社会福祉協議会  
苗木：瀬戸の里    坂本：ひだまり苑    落合：広斉寮    阿木：シクラメン

### 在宅介護支援センターの業務

当センターが他事業所と大きく異なる点は、介護保険適用外の人を対象にしていること。非該当・要支援・要介護を問わず、担当地域に住む高齢者すべてが支援対象になっている。業務については下記の項目に分類



## 1. 総合相談支援

：対象者本人・家族・近隣住民・区長・民生委員・老人会・公共機関・ケアマネ・病院・介護保険事業所からの相談に対応する。

：認知症や虐待等、対象者の問題解決を目的とした当センターからの関わり。

： と を円滑に進める為の情報収集と関係作りを目的とした実態把握訪問。

相談内容	H29 年度	H30 年度	令和元年度
状態把握	737	610	461
介護・福祉サービス	368	335	190
医療・福祉	64	74	44
介護に関する相談	46	53	19
認知症	68	43	45
申請代行	57	43	31
介護保険	143	219	123
身障・精神	12	12	2
虐待	0	0	0
その他	83	102	245
合 計	1578	1491	1160

## 2. 介護予防事業

### ○楽々健康体操教室

1月以外の毎月第一月曜日開催

開催数 11回 年間参加者数 144人

内容：ストレッチ体操・太極拳・ヨガ

今年度より外部講師に依頼して実施

### ○独居の会

毎月第三火曜日開催

開催数 11回 年間参加者数 69人

内容：参加者が予定した計画通りに実施



### 3. 権利擁護事業

成年後見制度や消費者被害のチラシやカレンダーの配布  
高齢者虐待に関する研修への参加

### 4. 認知症施策

○認知症家族介護者の会      開催数 2回      参加者数 4人

#### ○認知症サポーター養成講座

開催数   ： 4回

対象     ： 西地区民生委員   12人

          ： 西小学校4年生   95人+教師5人

          ： 小規模多機能こまんば運営委員   15人

          ： 後田区住民       25人



### 5. 地域ネットワークの形成

- ・西地区民生委員定例会出席
- ・懇話会開催
- ・生活支援体制整備第2層協議体
- ・担当地域各区クラブへの出前講座

手賀野サロン・大平クラブ・大峡クラブ・  
6区クラブ・西社協全体サロン・桃山会館  
後田クラブ・薬師公民館・5区クラブ  
会所ヶ丘クラブ

実施回数 16回      参加者数 448人



令和2年2月より市はコロナウイルス対策として状況が落ち着くまで事業停止を決定

令和元年度 瀬戸の里ワンコインサロン事業報告

令和元年度 西あんきなくらぶ事業報告

事業名	中津川市 集中型一般介護予防事業
主旨	虚弱・閉じこもりなどの高齢者が要介護状態になることを予防し 生きがいや自己実現のための取組を支援していく

	苗木地区			西地区			備考
事業名	瀬戸の里ワンコインサロン			西あんきなくらぶ			
事業日	火曜日 木曜日			水曜日 金曜日			週1日
実施場所	瀬戸の里介護実習センター			西在宅介護支援センター			月4回
	中津川市瀬戸1387-8			中津川市津島1-25			
	元年度	30年度	前年比	元年度	30年度	前年比	元年度計
年間稼働日	88	96	-8	87	96	-9	175
参加実人員	20	19	1	21	24	-3	41
新規参加実人員	8	2	6	5	6	-1	13
参加延べ人員	660	632	28	668	744	-74	1,328
参加中止	5	5	0	6	8	-2	11
(うち介護認定)	4	4	0	3	7	-4	7

2/28～3/31まで新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため合計18回の事業開催中止。

瀬戸の里ワンコインサロン9回 延べ65人、西あんきなくらぶ9回 延べ76人の参加見込み

4月	桜餅作り 花見ドライブ 体操
5月	ドライブ外出 健康体操 レク各種
6月	脳トレ 朴葉寿司 カレンダー作成 健康体操
7月	福祉まつり用作品作り 健康体操 脳トレ カレンダー作成
8月	夏祭りレク 折り紙 体操 レク各種
9月	脳トレ おり紙 健康体操 折り紙
10月	福祉まつり用作品作り 芋餅づくり 健康体操
11月	レク各種 健康体操 紅葉ドライブ
12月	カレンダー作成 レク各種 クリスマス会
1月	初詣 健康体操 お正月遊び
2月	折り紙 健康体操 脳トレ おやつづくり
3月	新型コロナウイルス感染拡大防止対策により事業開催中止

令和元年度  
事業報告



社会福祉法人五常会  
養護老人ホーム中津川市清和寮  
中津川市デイサービスセンターゆうわ苑

清和寮利用者状況

(実人数)

区分		男	女	合計
入所者数		15	15	30
年間	入所	2	3	5
	退所	0	3	3

	男	女
最高年齢	89	95
最小年齢	69	66
平均年齢	78.3	83.9
	81.1	

入退所状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者		0	0	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	5
内訳	在宅			2	2			1						5
	病院													0
	老健他													0
退所者		1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
内訳	死亡		1				1							2
	入院													0
	家庭復帰													0
	その他	1												1

利用状況

(年度未在籍数)

年度	自立者	介護1	介護2	介護3	介護4	合計
前年度	20	3	1	3	1	28
今年度	23	4	0	2	1	30
入院・外泊は利用人数に含めない				年間利用人員		10,127
平均要介護度		1		定員	16,470	稼働率 61.50%

認知症日常生活自立度

3月末現在

自立		a	b	a	b		M
8	4	2	9	6	1	0	0

食事形態

3月末現在

主食				副食				その他	入所者数
常食	粥	ミキサー	その他	常食	キザミ	超キザミ	ミキサー	経管	
28	2	0	0	21	7	2	0	0	30



# 令和元年度 年間行事報告書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

養護老人ホーム中津川市清和寮

項目 月別	生活支援関係				保 健 衛 生 関 係	給 食 係	職 員 研 修 会 議	管 理 係
	主 行 事	日 常 行 事	月 例 行 事	交 流 行 事				
4	イチゴ狩り・喫茶外出 散歩外出・カラオケ 小さな夢かなえます。	ラジオ体操 口腔・ストレッチ クラブ活動	誕生会 菓子販売 図書館訪問 役員会・常会 法要		嘱託医診察週1回・入浴2回 体重・血圧測定 屋内外清掃 大湫病院往診 感染症勉強会	誕生会食 お花見会食 セレクト給食	処遇・安全管理委員会・給食会議 拠点会議	消防用設備等自主点検 継続判定審査票・電気系統点検 避難訓練 エレベーター点検
5	日帰り旅行 散歩外出・カラオケ・避難訓練 小さな夢かなえます。	ラジオ体操 口腔・ストレッチ クラブ活動	誕生会 菓子販売 図書館訪問 役員会・常会 法要		嘱託医診察週1回・入浴2回 食堂清掃 大湫病院往診 体重・血圧測定 屋内外清掃 ざっぱん槽清掃 ワックス清掃	誕生会食 リザーブ給食 リクエストおやつ	処遇・安全管理委員会・給食会議 拠点会議・生産性向上委員会 感染対策委員会・地域福祉連絡	消防用設備等自主点検 共同部分清掃・ワックス掛け エレベーター点検
6	散歩外出・室内レク・カラオケ 日帰り旅行不参加者の外食会 小さな夢かなえます。 のど自慢大会	ラジオ体操 口腔・ストレッチ クラブ活動	誕生会 図書館訪問 菓子販売 役員会・常会 法要	落語慰問	嘱託医診察週1回・入浴3回 体重・血圧測定 屋内外清掃 食堂清掃・デンタル歯科 木村眼科往診 大湫病院往診・感染対策委員会	朴葉寿司会食 誕生会食 セレクト給食	処遇・給食会議・感染対策会議 拠点会議・地域福祉連絡会研修 ノロウイルス勉強会 新人研修	消防用設備等自主点検 費用徴収収入申告 エレベーター点検
7	七夕飾りつけ 散歩外出・カラオケ・喫茶外出 小さな夢かなえます。	ラジオ体操 口腔・ストレッチ クラブ活動	誕生会 図書館訪問 菓子販売 役員会・常会 法要	オカリナ演奏	嘱託医診察週1回・入浴3回 体重・血圧測定 デンタル歯科 大湫病院往 屋内外清掃 食堂清掃	誕生会食 七夕会食 夏祭り会食 リクエストおやつ	処遇・安全管理委員会・給食会議 拠点会議 健康な食を考える講演会 公衆衛生・中堅職員・リーダー研修	消防用設備等自主点検 防災訓練(機械設備等)消防署点検 エレベーター点検
8	カラオケ 小さな夢かなえます。 花火見物 夏祭り・歌う会	ラジオ体操 口腔・ストレッチ クラブ活動	誕生会 図書館訪問 菓子販売 役員会・常会 法要	中津第二中学校	嘱託医診察週1回・入浴3回 体重・血圧測定 在寮者定期健康診断 屋内外清掃 食堂清掃 デンタル歯科 大湫病院往診	誕生会食 リザーブ給食 リクエストおやつ	処遇・安全管理委員会・給食会議 拠点会議 感染対策勉強会	消防用設備等自主点検 エレベーター点検 消防署点検 電気系統点検
9	敬老・米寿の祝(誕生会兼) 散歩外出 大法要 外食会 歌う会・散歩外出・カラオケ 小さな夢かなえます。	ラジオ体操 口腔・ストレッチ クラブ活動	誕生会 図書館訪問 菓子販売 役員会・常会 大法要	南さくら保育園慰問	嘱託医診察週1回・入浴3回 体重・血圧測定 食堂清掃 デンタル歯科 大湫病院 木村眼科往診 屋内外清掃 感染症対策	誕生会敬老の日会食 大法要 嗜好調査 お彼岸	処遇・給食会議 感染症対策学習 介護職員接遇マナー研修 老人福祉施設関係者研修 拠点会議 ノロウイルス勉強会	消防用設備等自主点検 エレベーター点検 衛生管理監査
10	運動会・避難訓練 散歩外出・カラオケ 小さな夢かなえます。	ラジオ体操 口腔・ストレッチ クラブ活動	誕生会 菓子販売 図書館訪問 法要 図書館訪問	中津第二中学校	嘱託医診察週1回・入浴2回 体重・血圧測定 屋内外清掃 食堂清掃 デンタル歯科 大湫病院往診	誕生会食 セレクト給食 五平餅会食	処遇・安全管理委員会・給食会議 TBXディカルゼミナー・クレーム対応 拠点会議・地域保健関係職員研修 地域福祉連絡会	消防用設備等自主点検 避難訓練(地震) エレベーター点検
11	クリスマス工作 小さな夢かなえます。 散歩外出・カラオケ レクレーション・クラブ活動 忘年会看板作り	ラジオ体操 口腔・ストレッチ クラブ活動	誕生会 法要 菓子販売 役員会・常会 図書館訪問		嘱託医診察週1回・入浴2回 体重・血圧測定 屋内外清掃 定期レントゲン検診 ワックス清掃 インフルエンザ予防接種 食堂清掃 デンタル歯科 大湫病院往診 感染症対策	誕生会食 リザーブ給食 リクエストおやつ	処遇・給食会議 東濃支部幹事会 安全管理委員会 職員救急救命講習 感染対策学習 拠点会議	消防用設備等自主点検 地震防災委員会 エレベーター点検 職員救急救命講習会 全施設内の清掃・ワックス掛け
12	忘年会 カラオケ 小さな夢かなえます。	ラジオ体操 口腔・ストレッチ クラブ活動	誕生会 法要 菓子販売 役員会・常会 図書館訪問	家族連絡 中津川・恵那市曹洞宗住 慰問 落語慰問	嘱託医診察週1回・入浴2回 体重・血圧測定 感染症対策 屋内外清掃 食堂清掃 デンタル歯科 大湫病院 木村眼科往診	誕生会食 クリスマス もち会食 年越し	処遇・安全管理委員会・給食会議 認知症高齢者介護職員研修 事故防止対策研修 拠点会議	消防用設備等自主点検 エレベーター点検 業者による消防設備点検
1	初詣 工作・カラオケ	ラジオ体操 口腔・ストレッチ クラブ活動	誕生会 法要 菓子販売 役員会・常会	オカリナ演奏	嘱託医診察週1回・入浴2回 食堂屋内清掃 体重・血圧測定 職員健康診断 デンタル歯科・大湫病院往診	誕生会食・リクエストおやつ おせち料理(元旦) セレクト給食	処遇・安全管理委員会・給食会議 拠点会議 感染症対策学習	消防用設備等自主点検 エレベーター点検
2	室内ゲーム クラブ活動・カラオケ	ラジオ体操 口腔・ストレッチ クラブ活動	誕生会 法要 菓子販売 役員会・常会		嘱託医診察週1回・入浴2回 体重・血圧測定 在寮者定期健康診断 屋内清掃 食堂清掃 大湫病院往診	誕生会食 寿司会食 リザーブ給食 節分	処遇・安全管理委員会・給食会議 ノロウイルス勉強会 虐待防止ネットワーク 拠点会議	消防用設備等自主点検 エレベーター点検 電気系統点検
3	自治会役員選挙 自治会総会 工作・カラオケ・防災訓練	ラジオ体操 口腔・ストレッチ クラブ活動	誕生会 図書館訪問 菓子販売 役員会・常会 法要		嘱託医診察週1回・入浴2回 感染症対策 体重・血圧測定 屋内外清掃 食堂清掃 デンタル歯科 大湫病院往診	誕生会食 お彼岸食 ひな祭り セレクト給食	処遇・安全管理委員会・給食会議 拠点会議・ノロウイルス勉強会	消防用設備等自主点検 電気点検・建物検査 エレベーター点検 避難訓練

クラブ活動 ボランティアによる五感健康法・音楽療法・民謡教室・きねづか教室・朗読教室を月1回行う。落語・演奏慰問・塗り絵の会・カラオケ適宜行う。

## 中津川市デイサービスセンターゆうわ苑事業概況報告

市内に複数の新規通所介護事業所の開設で、通所介護事業所が飽和状態となり新規ご利用者獲得が苦戦すると予測される中、令和元年度計画数 4,465 名、稼働率 80%、の目標に向いスタートを切りました。

新規通所介護事業所の多くは、都心部での成功例を取り入れた機能訓練に特化した事業所や、通称「お泊りデイ」なる宿泊可能な事業所であり、旧来型の通所介護事業所が敬遠され苦戦を強いられています。「苑の存続の危機」であるという危機感を持ち利用者の増員を図る為、「ゆうわ苑でも出来る事」を職員間で知恵を絞り、口腔機能向上の為に食前の口腔体操の実施や、機能低下予防の為にレクリエーション前の機能低下予防体操を取り入れ、希望者には機能訓練指導員を中心に 3 m の歩行バーを用いた歩行機能の向上訓練や油圧マシンでの機能低下予防のご支援の取り組みを継続し好評を得ています。また、平成 27 年 4 月の介護保険改正より新たに加算用件となった、中重度加算・認知症加算の取得を継続し、収益改善に努めましたが、平成 31 年度目標 4,465 名に対して実績数 4,172 名、達成率 93.4%と目標未達でした。

令和 2 年度も、飽和状態である通所介護事業所同士の利用者獲得競争や、お泊りデイやショートステイと通所介護事業所とを併用される利用者の増加影響を考えますと、安定した稼働率の維持は難しく、なお一層の売上獲得の方策が必要と考えます。また、5 年 10 年後を視野に入れた人材発掘・人材育成を計画的に行うことが急務であり、2021 年の介護報酬の改定では軽度者の地域支援事業への移行や更なる単価の切り下げが予測され苦しい状況が予見されています。

ゆうわ苑は、開所より 30 年目となり設備の老朽化も顕著です。お客様のニーズに合ったサービスの提供や施設の改修・補修が必要であると思われます。今後も職員一同危機感を持ち、コンプライアンスを重視し、利用者・ご家族・介護支援専門員より選ばれる施設となる様、利用者確保に努めてまいります。

## 令和元年度 稼働状況等報告

指定番号	2171500131			定 員(A)		18人		総合事業 A6有
事業所名	デイサービスセンターゆうわ苑			3月利用実人員		47人		
運営時間	8時30分～17時30分			稼働日		月～土(年未年始を除く)		
報酬単価 各種可算 要介護 円/回 要支援 円/月  1認知症加算は個別加算 の為対象者のみ加算  2要支援1・2の昼食間食は 一回720円×利用回数	介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	7h～8h単価	16,470	33,770	7,390	8,730	10,120	11,500	12,880
	入浴加算			500	500	500	500	500
	サービス提供体制強化加算 ( )イ	720	1440	180	180	180	180	180
	中重度ケア体制加算			450	450	450	450	450
	1 認知症加算 (個別加算の為合計に含めず)			600	600	600	600	600
	介護職員処遇改善加算 ( )	1,014	2,077	503	582	664	745	827
	介護職員特定処遇改善加算 ( )	206	423	102	118	135	152	168
	2 昼食・間食	720×利用回数	720×利用回数	720	720	720	720	720
利用料日額 合計	18,410	37,710	9,845	11,280	12,769	14,247	15,725	

要支援は一か月単価表記

	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比較	苦情		
稼働日数	309日	309日	0	令和元年度	30年度	
平均年齢	86.1歳	85.9歳	0.20	0	0	
男女別人員	男1843人 女2329人	男2094人 女2434人		第三者委員まで 報告を要した件数		
平均介護度	2.8	2.6	0.2	事故		
要支援	0	20人	-20	令和元年度	30年度	
要支援	124人	67人	57	0	2	
要支援合計	124人	87人	37	保険を適用件数		
要介護	719人	911人	-192	職員等の状況 (兼務の場合主職種)		
要介護	1,067人	1,343人	-276			
要介護	788人	721人	67	常勤	非常勤	
要介護	1,040人	986人	54	管理者	1	
要介護	434人	482人	-48	相談員	1	
要介護合計	4,048人	4,443人	-395	介護士	4	
年間総合計	4,172人	4,530人	-358	看護師(機能訓練)	2	
年間総定員	5,562人	5,562人	0	支援	1	
稼働率	75.01%	81.45%				
計画数	4,465人	4,450人	15			
達成率	93.44%	101.80%				

## 令和元年度 利用者年間行事

月	行事名	内容【各一週間目処】	実施期間	参加人数
4	春のお茶会	手作りおやつを食べ、抹茶堪能して頂く	3日～5日	39名
	花見ドライブ	桜の名所をめぐりドライブ 季節を感じて頂く	6日～13日 18日	47名
		芝桜・花桃をめぐりドライブ 季節を感じて頂く	16日19日 22日23日	30名
5	端午の節句	五月飾りの工作・折り紙鼻工作	1日～4日 9日～10日	44名
	書道教室	昔取った杵柄、書をしたためて頂き苑内に掲示	体重測定 3日8日	26名
	花見ドライブ	つつじをめぐりドライブ 季節を感じて頂く	7日	9名
6	花見ドライブ	バラ・紫陽花をめぐりるドライブ 季節を感じて頂く	1日 20日21日	35名
	交流会	瀬戸の里デイサービスセンターとの交流会開催	18日	14名
7	書道教室	昔取った杵柄、書をしたためて頂き苑内に掲示	9日～12日	36名
8	苑内喫茶	施設内にて喫茶店の雰囲気を楽しんで頂く	体重測定 26日～31日	86名
	夏祭り	施設内にて祭りの雰囲気懐かしんで頂く	5日～6日	21名
9	防災訓練	防災意識の向上と、安心安全な運営体制の確認	16日	14名
	敬老の日	「敬老膳」を用意し敬老を祝いする	16日～17日	30名
	喫茶外出	近隣の喫茶店で、雰囲気を感じて回想して頂く	23日 25～27日 10月1日	18名
10	苑内喫茶	施設内にて喫茶店の雰囲気を楽しんで頂く	28日～31日	50名
	手作五平餅	新米の収穫を祝い五平餅を食べる	17日～19日	34名
11	紅葉ドライブ	モミジやイチョウなど紅葉の名所を巡るドライブ	体重測定 19日～25日	12名
12	年末合同会食	職員と一緒に食事をしながら一年の思い出を語り、季節感や生きがいを感じて頂く。	11日 24日	28名
	苑内喫茶	施設内にて喫茶店の雰囲気を楽しんで頂く	11日 24日～25日	44名
1	初詣	近くの神社、仏閣に参拝	6日～8日	19名
	初釜	初釜にて新年を祝う	6日～9日	54名
	書き始め	新しい年を祝い、書をしたためて頂き苑内に掲示	体重測定 14日～16日	29名
2	苑内喫茶	施設内にて喫茶店の雰囲気を楽しんで頂く	24日～26日	35名
3	桃の節句	雛飾り作り人形工作	5日～7日	27人
年間通して		音楽療法(毎月1回)・ソロバン教室(毎月1回)・落語(不定期) 口腔体操(毎日)・機能低下予防体操(毎日)・三味線サックス演奏(四半期1回)		

尚、各行事に不参加の方にはその都度、各利用者に適した個別レクリエーションを提供(月初めに計画)

苑内喫茶店は随時。

生活に則した機能訓練やGマシーン・歩行バーでの歩行訓練は、日課の中で希望者へ提供

令和元年度  
事業報告書



福岡デイサービスセンター  
福岡ショートステイ事業所

# 事業概況

## 福岡デイサービス事業

### 総合事業・通所介護

令和元年度は目標計画数 5,140 件に対して実績 4,796 件で達成率 93%と目標値まで未達成という結果でした。稼働率は 74%と昨年度より-4%の数値と大幅な減少となりました。稼働率低下の原因としましては、参入事業所への新規利用者の流入と入院・入所等重なり、特に 1~2 月の稼働率が顕著な低下となりました。

稼働率向上を目的として今年度の 2 月に当事業所のアピールとして 3 事業所の居宅介護支援専門員を招いて昼食懇談会(バイキング会食)を行い、バイキング行事の様子や利用者の昼食の様子を見学して頂きながら、味の評価や行事の雰囲気を感じて頂きました。

利用者の ADL の維持・向上の取り組みとして、午前中は脳トレや足漕ぎ運動・血流促進マッサージを取り入れ、午後からは口腔体操やりハビリ体操・コグニサイズ等楽しみながら取り組めるプログラムの提供を行いました。同時に、入浴や食事提供時・体操やレク等様々な場面での利用者の心身・身体の状態の把握に努め、常に介護者様や居宅介護支援専門員・関係機関などと連携・協働しながら、利用者の在宅生活が継続できるようアプローチ致しました。社会性の維持・向上を目的として、様々な季節行事を企画し、春の日帰り旅行や敬老週間、ぶどう狩りや忘年会、餅つき大会など多数参加して頂きました。また喫茶外出や買い物外出も普段出掛ける機会が少なくなった利用者に好評いただいております。

地域貢献事業として文化展へ作品を出展したり、地元ボランティアの方の協力にて初詣やぶどう狩りなどの行事に参加して頂きました。また小学校や保育園との交流会を開催し、利用者に変好評頂きました。今後も地域貢献に向けた様々なニーズを積極的に取り入れ、地域に根付いた事業所を目指します。

業務改善としてケアパレットを導入し、記録の ICT 化を図り、業務の効率化を行なうことにより、利用者との交流の場を増やすことが出来ました。今後も更なる改善策を見出し、よりよい支援を目指した事業展開を行います。

## 福岡ショートステイ事業

### 介護予防短期入所生活介護 ・ 短期入所生活介護

今年度は計画数 616 件に対して実績数 588 件で達成率が 95%・稼働率 76%と昨年度の稼働率とほぼ横這いとなりました。短期間利用や曜日指定のニーズが高まり、月曜日から金曜日の稼働範囲では調整が困難な時もありました。他に体調不良によるキャンセルの増加・入所・入院・他ショートステイ事業所への需要などとなります。当事業所の土・日稼働のニーズがありますが、人材不足の為に稼働に至っておりません。今後の事業展開としまして、人材の確保が必要となります。

他事業所との違いとしてデイサービス併設で日中は通所の方と一緒に過ごす事が出来るため、慣れた施設で泊まりたいというニーズがあり、定期的な利用に結び付いています。また定期的なショートステイの利用による介護者様の介護負担の軽減が図れるよう取り組みました。

家庭的な雰囲気をもっとに個々の生活習慣の尊重・健康管理の重視に努め、介護支援専門員や介護者様との連携も密に行ないました。また生活リハビリとして、洗濯たたみや掃除等家事を取り入れ、在宅生活を支援できる事業所を目指しました。今後も利用者・介護者様のニーズに添える様なサービスを展開していきたいと思っております。

### 令和元年度 稼働状況等報告

指定番号	2172000669			定 員 (A)		25人		総合事業 A6有
事業所名	福岡デイサービスセンター			3月利用実人員		53人		
運営時間	8時30分～17時30分			稼働日		月～金(年未年始を除く)		
報酬単価  各種可算 要介護 円/回 要支援 円/月  要支援1・2の昼食間食は 一回720円×利用回数	介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	7h～8h単価	16,550	33,930	6,480	7,650	8,870	10,080	11,300
	入浴加算			500	500	500	500	500
	サービス提供体制強化加算 ( )イ	720	1440	180	180	180	180	180
	中重度ケア体制加算			0	0	0	0	0
	介護職員処遇改善加算 ( )	1,019	2,087	422	491	563	635	707
	介護職員特定処遇改善加算 ( )	207	424	86	100	115	129	144
	2 昼食・間食	720×利用回数	720×利用回数	720	720	720	720	720
	利用料日額 合計	18,496	37,881	8,388	9,641	10,948	12,244	13,551

要支援は一か月単価表記

	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比較	苦情	
稼働日数	258日	256日	2	令和元年度	30年度
平均年齢	87.87歳	87.47歳	0.40	1	0
男女別人員	男1074人 女3722人	男1329人 女3675人	男-255人 女47人	第三者委員まで 報告を要した件数	
平均介護度	2.5	2.3	0.2	事故	
要支援	20	187	-167		
要支援	127	133	-6		
要支援合計	147	320	-173	令和元年度	30年度
要介護	1357	1242	115	1	0
要介護	1542	1391	151	保険を適用件数	
要介護	505	936	-431		
要介護	1053	941	112	職員等の状況	
要介護	192	174	18	兼務の場合は主職種	
要介護合計	4649	4684	-35		常勤
年間総合計	4796	5004	-208	管理者	1
年間総定員	6450	6400	50	相談員	2
稼働率	74.36%	78.19%	-3.83%	介護士	1
計画数	5140	5020	120	看護師(機能訓練)	1
達成率	93.31%	99.68%	-6.37%	栄養士	1

### 令和元年度 稼働状況等報告

指定番号	2181500063			定 員(A)		3人		予防有
事業所名	福岡ショートステイ事業所			3月利用実人員		12人		
運営時間	月曜日8時30分～金曜日17時30分			稼働日		月～金(年未年始を除く)		
報酬単価 各種可算 要介護 円/回 要支援 円/月	介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	一日あたりの基本料金	4,660	5,790	6,270	6,950	7,650	8,330	9,000
	送迎加算(往復)	3680	3680	3680	3680	3680	3680	3680
	サービス提供体制強化加算( )	60	60	60	60	60	60	60
	介護職員処遇改善加算( )	697	791	831	887	945	1,002	1,057
	介護職員特定処遇改善加算( )	193	219	230	246	262	278	293
	滞在費	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
	朝食・昼食・間食・夕食	1380	1380	1380	1380	1380	1380	1380
利用料日額合計	11,841	13,091	13,622	14,374	15,148	15,900	16,641	

	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比較	苦情	
稼働日数	257日	255日	2	令和元年度	30年度
平均年齢	87.01歳	87.46歳	-0.45	0	0
男女別人員	男110人 女478人	男122人 女453人	男-12人 女25人	第三者委員まで報告を要した件数	
平均介護度	2.8	2.8	0.0	0	
要支援	0	7	-7	0	
要支援	0	0	0	0	
要支援合計	0	7	-7	0	
要介護	83	61	22	0	
要介護	193	203	-10	0	
要介護	72	65	7	0	
要介護	180	195	-15	0	
要介護	60	44	16	0	
要介護合計	588	568	20	0	
年間総合計	588	575	13	0	
年間総定員	771	765	6	0	
稼働率	76.26%	75.16%	1.1%	0	
計画数	616	687	-71	0	
達成率	95.45%	83.70%	11.75%	0	
				職員等の状況	
				兼務の場合は主職種	
				常勤	非常勤
				管理者	1
				相談員	2
				介護士	1 4
				看護師(機能訓練)	1 1
				栄養士	1

# 令和元年度 利用者年間行事報告書

福岡デイサービスセンター

月	行事名	内容	実施期間	参加人数
4	日帰り旅行いちご狩り	季節行事、飯田市へ一日日帰り旅行へ出掛け、春の味覚を堪能して頂く 場所 NPO法人 だいち(飯田市)	4月20日	23名
5	買物外出	日頃買い物に出掛けられない方に買い物をして頂く 希望利用者対象 場所 パロー苗木店	5/13~17	36名
6	郷土食(朴葉寿司)	地元の郷土料理を堪能 全利用者対象	6/10~14	105名
7	七夕短冊作り	七夕の短冊作りや飾り付けを行なって頂き、季節感を味わって頂く	7/1・2・3・4・5	90名
	七夕会食	七夕をイメージした会食の提供を行い、季節の風物詩を味わって頂く	7/1・2・3・4・5	95名
8	夏祭り	夏祭りの季節となり、屋台にて出し物(金魚すくい・輪投げ・ヨーヨー釣り・射的)を行って頂き、雰囲気味わう	8/5・6・7・8・9	98名
	喫茶外出	坂本にある喫茶「ばんど」様の御協力にて喫茶店の雰囲気と美味しい飲み物やデザートを堪能して頂く (希望利用者対象)	8/19・20・21・22・23	42名
9	敬老週間・敬老会食	敬老の日になんで喜寿・米寿・白寿の方にお祝いを行う。また、日頃の感謝を込めて会食を提供し、レク時に職員・ボラによる演芸を披露	9/11・12・13・15・16	米寿2名 白寿2名 喜寿1名
	ぶどう狩り	中津川市落合・山本農園でのぶどう狩り 季節の味を堪能して頂く 日赤ボラ参加 希望利用者対象	10/3・7・8・9・11	33名
10	運動会	施設内にて2チームに分かれ、当時の競技を取り入れながら、回想して楽しんで頂く	10/14・15・16・17・18	101名
	避難訓練	利用者様を交えて、災害時での避難訓練を行う 職員への知識向上・マニュアルの見直し	10月24日	20名
	消火器訓練・救命講習	北消防職員を講師として招いて、救命や消火の基礎知識と技能の習得(職員のみ参加)	11月1日	10名
11	買い物外出	日頃買い物に出掛けられない方など買い物をして楽しんで頂く 希望利用者対象 場所 坂下「サラ」	11/11・12・13・14・15	33名
12	忘年会	今年一年の感謝を込めて持ち寄った余興や特技を披露して楽しんで頂く 『かんぼの宿』にて開催 希望利用者対象	11月30日	29名
	鍋会食 餅つき	年内最後の行事として鍋料理を堪能して頂き、餅つきは利用者に参加して頂き、年越しの雰囲気を味わって頂く 全利用者対象	12/25・26・27・28・29	92名
1	初詣ドライブ	新年を迎えて、近隣の神社仏閣への参拝 日赤ボラ参加 全利用者対象	1/6・7・8・9・10	83名
2	節分	季節行事・鬼に扮したスタッフに豆まきを行い無病息災祈願 全利用者対象	2/3・4・5・6・7	81名
	バイキング会食	ホテルバイキングの雰囲気を感じて頂きながら、10数種類の料理を選んで堪能して頂く 全利用者対象	2/10・11・12・13・14	83名
3	喫茶外出	坂本にある喫茶「ばんど」様の御協力にて喫茶店の雰囲気と美味しい飲み物やデザートを堪能して頂く (希望利用者対象)	新型コロナウイルス感染予防の為に中止	
毎月	誕生日会	当月の誕生日を迎える利用者様へのお祝い	毎月	対象者
	手作りおやつ	利用者参加でのおやつ作り		
	温泉入浴	温泉入浴剤などを使用して小旅行気分を味わって頂く		

令和元年度  
事業報告書



社会福祉法人 五常会  
特別養護老人ホーム  
みずなみ 瀬戸の里

## みずなみ瀬戸の里 事業報告

みずなみ瀬戸の里は、この一年間、地域社会への貢献と信頼度向上が増々重要であることを考慮し、より一層の安全安心に努め、安楽な生活をしていただけるよう職員一人ひとりが日頃の業務において、『介護サービスの質の向上』による顧客満足度を高める意識を強く持ち、利用者や家族、さらには地域から信頼され選んでいただける施設づくりを目指して取り組んでまいりました。

今年度の稼働率目標は95%、年間を通して率の向上に努め、結果は95.5%でした。入院外泊日数が年間812日で100日を超える月が3回あったこと、退居から入居までの空室期間（20日以上）が多いのが継続した課題となっています。そのための対策として、空き部屋を少しでも埋めるべく空室利用型のショートを2月から開始することが出来ました。次年度はさらに収益向上のために空き部屋の日数を少しでも減らすよう取り組んでまいります。

当施設で最初のEPA候補者2名は、二人とも介護福祉士の試験に合格しました。その後においては1名帰国、1名は新型コロナの影響で帰国するタイミングを逃し、今（5月1日現在）も働いてくれています。

職員不足は今年度も深刻な状況でした。開設当初からの職員は還暦を迎えても夜勤をやらしてもらわなければならない状況であり、パート職員に早番をやらせて勤務が成り立っている状況が続いています。こうした職員不足の中でも、入居者へのサービスやイチゴ狩り・外食・買い物などに行くことができ、各種の年中行事に参加されて大変喜んで頂くことが出来ました。

施設での看取り対応の方は11名でした。ご家族には看取り後にアンケートをお願いして看取りケア充実につなげていき、少しでも看取りでの退居が多くなれば空室期間の短縮にもつながると考えます。

身体拘束において、今なお拘束を行っている方がありますが件数は減っており、次年度は身体拘束ゼロになるよう取り組んでまいります。

地域貢献として、『ささエール』という市役所が主催するボランティア養成のための介護教室を前年度は1セット（3回）を1回開催でしたが、今年度は2回開催することができ大変好評を得ております。また、認知症サポーター養成講座の講師として出向くことを行い、次年度も要請があればできるだけ受けたいと思います。

今後も施設理念に沿い、家庭的な雰囲気の中で共に暮らし共に生きることを大切にして経営の安定化を図り、多様化するニーズに適した効率的なサービスを提供していくために職員が一丸となって努めてまいります。

入居状況

(実人数)

区分		男	女	合計
入居者数		4	76	80
年間	入所	3	24	27
	退所	7	18	25

	男	女
最高年齢	95	104
最小年齢	80.9	79.2
平均年齢	89.5	90.6
	90	

入退所状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者		1	4	3	1	4	3	2	0	4	3	0	2	27
内訳	在宅	1		2		1		2		2	1			9
	病院		2			1	2				1		2	8
	老健他		2	1	1	2	1			2	1			10
退所者		2	3	1	4	3	2	1	1	6		2		25
内訳	死亡	2	2		2	1	1	1		4		2		15
	入院		1	1	2	2	1		1	2				10
	家庭復帰													0
	その他													0

利用状況

(延べ人数)

年度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
前年度	122	319	8,207	11,067	6,261	25,976
今年度	0	304	9,212	10,202	9,017	28,735

平均要介護度 4.00

年間稼働率 95.45%

認知症日常生活自立度

3月末現在

自立		a	b	a	b		M
3	1	12	12	20	22	6	4

80

食事形態

3月末現在

主食				副食				その他	入所者数
常食	粥	ミキサー	その他	常食	キザミ	超キザミ	ミキサー	経管	
41	26	13		21	19	27	13		80

事故報告状況

転倒・骨折	誤薬	誤食	徘徊（施設外）	裂傷	合計	保険適用件数
11	0	0	0	0	11	0

苦情相談件数

ケアの内容	個人の嗜好	職員の対応	その他
0	0	4	0

身体拘束状況

4本柵対応	ミトン使用	つなぎ寝巻き着用	安全ベルト使用
0	0	1	2

従事者の状況

3月末現在

	管理者	医師	生活相談員	介護支援専門員	介護職員	看護職員	栄養士	機能訓練指導員	事務員	調理員	その他	合計
常勤	1	0	1	1	33	3	1	1	2	0	0	43
非常勤	0	1	0	0	9	1	1	0	1	0	5	18
非常勤の常勤換算	0	0.1	0	0	5.3	0.87	0.75	0	0.6	0	2.5	10.12
合計	1	0.1	1	1	38.3	3.87	1.75	1	2.6	0	2.5	53.12

有資格者数

3月末現在

社会福祉士	1 人	正看護師	2 人
介護福祉士	19 人	准看護師	3 人
介護支援専門員	5 人		

短期入所（ショートステイ）事業年間利用状況

3月末現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援1													
支援2													
介護1													
介護2											4		4
介護3													
介護4													
介護5													
合計											4		4

## 行事報告

4月	オープン喫茶	天気の良い日に外で喫茶を行い、カラオケを歌う。
5月	いちご狩り	日帰り旅行で、イチゴ狩りに行く。 入居者 10名
8月	17日 納涼夏祭り	夏の夜のひと時をご家族と一緒に過ごしていただく。参加家族 157人
9月	23日 敬老祝い	百寿4名・白寿3名・米寿5名・喜寿0名の方に花束を渡し、ちゃんちゃんこを着て写真撮影。
10月	30日 開園13周年記念 (五平会食)	開園13周年を記念して、全入居者がダイルームで職員と一緒に五平餅を食べました。
11月	20日 園児の慰問	近隣の保育園児がお遊戯をしに来てくれて、一緒に歌をうたったりしてもらった。
12月	24日・25日 クリスマス会	各ユニットで計画しクリスマス会を実施。入居者皆さんにプレゼントとクリスマスケーキを食べる。
12月	27日 餅つき	入居者の方に餅つきを見ていただき、花餅を作成し、正月の準備を入居者とする。
2月	鍋会食	各ユニットで希望の鍋を入居者に出してもらい、職員と一緒に鍋を囲む。 今年度はお好み焼きもありました
2月	3日 豆まき	各ユニットで鬼のお面をかぶった職員に、大きな枡の中の新聞紙の玉を投げて鬼を追い出す。 ヒイラギの木をユニットに飾り昔の風習を感じてもらおう。

- \* 各ユニットで誕生会を、本人の要望を聞き外食したり、みんなでケーキを食べたりしてお祝いをしました。
- \* ユニットで行事を実施する。

## 会議・委員会の開催

会議	職員会議	月一度、各ユニット・各セクションが集まりケアの共有と統制等を図る
	リーダー会議	各ユニットのリーダーが集まりケアの充実、職員の統制を図る
	ユニット会議	毎月ユニット内でのケアの統一やユニットの問題点について話し合い 時間外ユニット会議も行い、ユニットケアの充実に努める
	担当者会議	月1度各ユニットで会議の日を決め実施。入居者の担当者を決め、個別ケアに向けての会議を実施。
委員会	医療委員会 (褥瘡対策・感染症対策)	褥瘡の悪化を防止し、ケアの統一を図る。  インフルエンザ・ノロウイルス・食中毒に感染しないように検討する。
	介護・看護技術委員会	介護職・看護職の技術向上について内部研修を企画・実施 4/25 服薬研修 6/26 食中毒予防研修。 8/13 緊急時の対応研修 9/25 褥瘡予防研修 11/27 事故対策研修 12/25 身体拘束研修 1/29 ポジショニング研修 2/26 口腔研修

令和元年度  
事業報告書



社会福祉法人五常会

特別養護老人ホーム ニツ森  
ニツ森 ショートステイ  
ニツ森 デイサービスセンター  
ニツ森 居宅介護支援センター

## 二ツ森拠点の目標、職員の行動に関する重要な柱

2004年1月の開設から16年が経過した。開設20周年を見据え、施設の老朽化対策、従業員の確保・定着を目的とした働き方改革を推進し、拠点活動の在り方・目標を一新、二ツ森スタンダード元年とし活動を展開した。

### 『地域の皆様から期待され愛される福祉拠点でありたい』

- ・「気づき」と「優しさ」を以ってすべてのことにあたり、福祉の専門性を高めます。
- ・「あいさつ」と「コミュニケーション」を大切にし、人としての総合力を高めます。

## 令和1年度 二ツ森拠点の事業概況

これまでの決算を振り返ると、平成24・25・28・30年度と経常増減差額はマイナスとなった。

主な要因は、主力サービスである特養定員が50名と規模が小さいことから収益力が弱く、不測の事態に耐えうる財力に乏しい、在宅系稼働率の低下が継続すると全体で持ちこたえることが困難、また人材確保の観点から採用機会を逃すべく若干余力を持たせた採用を行うと即座に損益を悪化させてしまうなど、損益コントロールが極めて難しい規模の拠点である。

その不安定さからの回避と人件費増加費用の吸収、拠点全体の損益改善を目的とし、平成30年1月、特養定員を50名から55名(+5)、ショート定員を10名から5名(-5)と、定員変換を図った。加えて特養の稼働率向上は当然ながら、ショートステイ、デイサービス、居宅事業の所長体制以降、お客様第一の視点を持ちつつ、稼働率向上、予算統制・損益向上に意識した経営に取り組んでいる。

開設20年を見据えより安定した経営をするためには、各サービスの稼働率等の事業計画は必達、人材採用、更には令和3年度以降の車両代替、主要設備の改修等に取り組んでいくための基盤整備の一年としていたが不十分に終わった。損益結果は次のとおりである。

### 1. 収入と稼働率 (単位：千円)

サ区分	収入	前年	差異	前年比	稼働率	前年	前年比
特養	269,076	265,422	+3,654	101.38%	97.75%	97.70%	100.01%
S S	22,056	21,796	+260	101.19%	87.55%	87.05%	100.57%
D S	30,447	25,215	+5,232	120.75%	79.80%	67.20%	118.75%
居宅	6,662	4,966	+1,696	134.16%	595件	367件	162.13%
<b>合計</b>	<b>328,241</b>	<b>317,399</b>	<b>+10,842</b>	<b>103.42%</b>			

### 2. 人件費の増加(拠点計)

人件費計前年差異 +9,801 前年比 104.38%

特定加算支給総額 2,027、定昇による増額相当 1,232、正規職 2名相当増

### 3. 事業費・事務費増(拠点計)

事業費前年比 +1,725 給食+203、水光熱+243、介護用品+846、消耗器具備品+577  
 事務費 " 5,174 事務消耗品+1,120、手数料+676、雑費+543  
 修繕費 7,479 (空調室外機6基改善対策修繕6,000弱、  
 厨房床補修剥離・塗装1,355) 2018年度

4. 差額(拠点計)	当期	30年度	29年度	28年度	27年度	26年度
資金収支差額	1,417	7,706	3,013	2,904	2,185	2,824
事業活動差額	201	4,880	58	2,084	4,080	2,654

入居状況

(実人数)

		男	女	合計
入居者数		6	48	54
年間	入所	1	8	9
	退所	1	9	10

特別養護老人ホーム ニツ森

	男	女
最高年齢	88	101
最小年齢	69	68
平均年齢	78.46	90.3
	89.06	

入退所状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所					1	1	1	2	1	2		1		9
内訳	在宅						1					1		2
	病院													
	老健他				1	1		2	1	2				7
退所者				1	1	1	4		1		1		1	10
内訳	死亡			1	1	1	4		1		1		1	10
	入院													
	家庭復帰													
	その他													

利用状況

(延べ人数)

年度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
前年度		381	2,875	8,705	7,762	19,723
今年度			2,253	9,163	8,248	19,664

平均要介護度 4.30

定員	20,130	稼働率	97.70%
----	--------	-----	--------

認知症日常生活自立度

自立		a	B	a	B		
1	2	2	6	20	2	21	

食事形態

主食				副食				その他	入所者数
常食	軟飯	粥	ミキサー	常食	きざみ	極きざみ	ミキサー	経管	
16	13	17	7	16	9	19	9	1	54

副食・常食に『一口大』含む

事故報告状況

二ツ森拠点

転倒・骨折	誤薬	誤食	行方不明	裂傷	誤嚥	合計	保険適用件数
2	4				2	8	2

「転倒・すり落ち」「誤食」「裂傷」は入院通院した事故に限る。

苦情相談件数

ケアの内容	個人の嗜好	職員の対応	その他

身体拘束状況

4本柵対応	ミトン使用	つなぎ寝巻き着用	安全ベルト使用
			1名 本人希望

従事者の状況 二ツ森拠点合計

3月末現在

	管理者	医師	生活相談員	介護支援専門員	介護職員	看護職員	栄養士	機能訓練指導員	事務員	調理員	その他	合計
常勤(A)	1		3	3	24	2	1	(2)	2			36
非常勤(B)		2			13	4					4	23
非常勤の常勤換算(C)		0.1			8.3	2.7					2.3	13.4
(A)+(C)	1	0.1	3	3	32.3	4.7	1	(2)	2		2.3	49.4

機能訓練指導員は看護職員兼務のため合計数には含めず。

有資格者数 二ツ森拠点合計

3月末現在

社会福祉士	人	正看護師	2人
介護福祉士	32人	准看護師	4人
介護支援専門員	6人		

短期入所(ショートステイ)事業年間利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援1													
支援2													
介護1	4	3		2	7	6	9	2	5	2	5	2	47
介護2	6	6	17	8	7	7	14	7	6	21	11	14	124
介護3	44	45	39	40	50	33	38	15	18	9	12	8	351
介護4	53	54	70	48	54	63	68	90	91	74	85	91	841
介護5	29	32	10	24	24	19	15	16	20	13	14	24	240
合計	136	140	136	122	142	128	144	130	140	119	127	139	1,603
昨年度利用状況	128	126	132	129	138	130	145	132	138	133	132	127	1,590
	利用定員		1,830		稼働率		87.60						

## 2019年度 事業報告 ニツ森ショートステイ

### 年間稼働率：87,4%

最低稼働率：76,8%（1月） 最高稼働率：92,9%（10月）

ほとんどの月で85%以上の稼働率が確保できたものの、7月、1月に関しては80%を下回り他の月と大きく差が開きました。最高稼働率は昨年度最高（94,2%）より低い数字ですが、90%を上回る月が昨年度より多くなったことで低下した部分をカバーでき、平均稼働率としては上昇する結果となりました。

稼働率が伸び悩んだ際の要因に関して、昨年度同様、利用者様の急逝・体調不良・他施設入所といった要因から急遽空室が発生することが影響しました。キャンセル待ちご希望の方々への連絡調整自体は昨年度より迅速に行っており、ケアマネージャーへの電話連絡や居宅支援事業所への訪問の際に、空き状況を報告するなど営業活動も今までより活発に行っていますので課題は改善していますが、キャンセル待ちの受付自体が少なく、長期間ご利用されていた方のキャンセルの穴を全て埋められるほどではありませんでした。不確実なキャンセル待ちより他の事業所での振り替え利用をご希望される方が多いという状況でした。

稼働率が上昇した際の要因は、在宅生活が困難になりつつある方の長期利用化を柔軟に受け入れていること・新規利用希望者に関しても積極的に受け入れていることといった、介護職・看護職の努力による所が非常に大きかったと考えられます。

特養利用者の重度化が進み、介護量は増大、専門職としての意識向上もしきりに呼び掛けられる中、従業員各自の身体的・精神的ストレスともに今まで以上に膨れ上がっていることを実感しています。耐え切れない者から順に、仕事量の多さと内容の困難さ、賃金の低さなど待遇面に対し、不満を口にする姿が目立つことが多くなり、従業員間での人間関係悪化・統制の困難さが目立つようになってきました。それでも福祉に携わる者としてのプライドで『利用者様それぞれにとってより良いサービスを』と各々が考えを巡らせ、日々職務に取り組んでくれています。

2019年度の業務内容を見る限り、業務への取り組み方に改善・工夫を尽くしており、2020年度も継続して業務に取り組む所存です。業界全体を見ると離職者も後を絶たず常に人材不足の中、限られた人的資源で改善していけることと言えば、無駄な作業を極力排除し効率化を図ることに尽きると思われれます。加えて待遇面の改善・人員の拡充がなされることで、従業員の業務内容や精神面に余裕が生まれ、職務に対してより深く考察し専門職としての意識も高まると見込まれますので、そういったきっかけがあれば更なるサービスの充実と業績の向上を図ることができると考えます。

福祉に関してセンス・才能のある潜在的な人材から、長年五常会に所属し地域の介護福祉を支えてきた能力ある人材に至るまで、他の事業所・職業を選ぶよりも五常会の一員であることの方がより魅力的になるよう、この仕事が目に見えない『やりがい』のみでなく、時には目に見える『報酬』も更に伴う仕事になるよう、切に願うばかりです。

ニツ森ショートステイ  
所長 早川 陽介

## 令和元年度 稼働状況等報告

指定番号	2171500701			定員(A)		10人		総合事業 A6有
事業所名	ニッ森デイサービスセンター			3月利用実人員		31人		
運営時間	8時30分～17時30分			稼働日		月～土(年未年始を除く)		
報酬単価  各種可算 要介護 円/回 要支援 円/月  1要支援1・2の昼食間食は 一回690円×利用回数	介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	7h～8h単価	16,470	33,770	7,390	8,730	10,120	11,500	12,880
	入浴加算			500	500	500	500	500
	サービス提供体制強化加算 ( )イ	720	1440	180	180	180	180	180
	中重度ケア体制加算			450	450	450	450	450
	介護職員処遇改善加算 ( )イ	1,014	2,077	503	582	664	745	827
	介護職員特定処遇改善加算 ( )イ	206	423	102	118	135	152	168
	1 昼食・間食	690×利用回数	690×利用回数	690	690	690	690	690
利用料日額 合計	18,410	37,710	9,815	11,250	12,739	14,217	15,695	

要支援は一か月単価表記

	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比較	苦情	
稼働日数	310日	308日	2	令和元年度	30年度
平均年齢	84.95歳	85.7歳	-0.75	0	0
男女別人員	男553人 女1920人	男323人 女1744人		第三者委員まで 報告を要した件数	
平均介護度	2.9	3.0	-0.1	事故	
要支援	75人	人	75	令和元年度	30年度
要支援	人	人	0	0	0
要支援合計	75人	人	75	保険を適用件数	
要介護	428人	491人	-63	職員等の状況	
要介護	403人	315人	88	兼務の場合は主職種	
要介護	551人	517人	34	常勤	非常勤
要介護	725人	582人	143	管理者	1
要介護	291人	162人	129	相談員	1
要介護合計	2,398人	2,067人	331	介護士	4
年間総合計	2,473人	2,067人	406	看護師(機能訓練)	2
年間総定員	3,100人	3,080人	20	支援	
稼働率	79.77%	67.11%			
計画数	4,465人	4,450人	15		
達成率	55.39%	46.45%			

# 令和1年度事業報告

## 二ツ森居宅介護支援センター

令和1年度も引き続き専任者2名体制で、居宅介護支援事業を適正に行いました。  
昨年同様、蛭川・付知・苗木・坂下地区のお客様や中津川包括支援センターからの委託により介護予防サービスの受け入れも引き続き行いました。

今年度は、近隣の他居宅介護支援事業所が新規受け入れを中止していた事もあり、新規のご依頼が昨年以上にあり積極的に受け入れを行いました。

中でも要支援者、川上・坂下・山口地区のお客様の受け入れが増加しております。

ご利用者様・ご家族のニーズに添える様に、また、医療依存度の高い方、困難事例の対応についても、行政、医療、各サービス提供事業所、地域包括支援センターと連携を図り対応しました。

研修にも多く参加し、近隣の居宅介護支援事業所との勉強会を通して、居宅介護支援専門員との交流を図りました。

令和2年度も引き続き、親切・丁寧を心掛け、「二ツ森居宅介護支援センター」をより多くのお客様に選んで頂ける様に、お客様一人一人のニーズに添える様に心掛けます。

お客様が住み慣れた自宅での生活が、継続出来る様に、各事業所、医療、行政、地域包括支援センターとも連携を図ります。

二ツ森居宅介護支援センター  
所長 鎌田 祥江

令和2年3月31日現在

登録者 72名

内訳 ご利用者様 57名（要介護42名 要支援17名）

未利用者様 15名（内訳：要介護3名 要支援6名 入院6名）

令和1年度 新規・終了。

新規33名 中止11名 他界7名、居宅変更3名、未更新2名

長期老健入所者 2名（実数に含めない）

# 令和1年度 要介護度別国保請求内訳

二ツ森居宅介護支援センター

対象月		要介護度別内訳							国保請求	実件数
		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5		
4月	件数	4	5	12	6	4	4	3	38	41
	金額	20200	21500	154320	72600	67920	62920	47190	446650	
5月	件数	6	5	17	6	2	6	2	44	40
	金額	28800	21500	218370	72660	31460	97380	31460	501630	
6月	件数	4	4	14	6	2	5	2	37	38
	金額	17200	17200	169540	72660	31460	80650	31460	420170	
7月	件数	5	4	16	8	2	5	2	42	46
	金額	24500	17200	209260	99880	31460	78650	31460	492410	
8月	件数	6	5	17	7	7	7	4	53	45
	金額	31800	24500	215370	84770	119610	119610	71920	667580	
9月	件数	6	5	20	7	4	6	2	50	49
	金額	28800	21500	253200	84770	62920	94380	31460	577030	
10月	件数	7	6	20	9	4	6	2	54	53
	金額	39828	26280	251100	112390	63160	94740	31580	619078	
11月	件数	9	5	19	11	4	7	2	57	55
	金額	42476	21900	236990	136760	63160	113530	31580	646396	
12月	件数	9	5	19	8	4	7	2	54	55
	金額	39420	21900	236040	97280	63160	110530	31580	599910	
1月	件数	13	6	20	8	4	7	2	60	58
	金額	63052	29336	249200	97280	63160	111530	31580	645138	
2月	件数	11	6	17	9	4	6	2	55	58
	金額	48180	26280	206720	109440	63160	94740	31580	580100	
3月	件数	8	6	15	9	5	8	2	53	57
	金額	35040	26280	182400	117940	81950	129320	31580	604510	
合計	件数	88	62	206	94	46	74	27	597	595
	金額	419296	275376	2582510	1158430	742580	1187980	434430	6800602	

介護報酬加算 介護給付：要介護 1～2 12,110円（介護給付には特地加算あり）  
 要介護 3～5 15,730円（ ” ” ）  
 初回3,000円・2区分以上の介護度変更3,000円  
 退院退所 1回連携/カンファレンス有6,000円、カンファレンス無4,500円  
 2回連携/カンファレンス有7,500円、カンファレンス無6,000円  
 3回連携/ 9,000円  
 入院連携（ ）2,000円 （ ）1,000円  
 入院連携（ ） 医療機関に情報提供3日以内に行う。入院連携（ ） 医療機関に情報提供7日以内に行う  
 介護予防支援業務委託料 初回作成 7,436円 継続作成 4,380円